

EU Indicators

発表日: 2019年5月8日(水)

欧州経済指標コメント: 3月ドイツ鉱工業生産

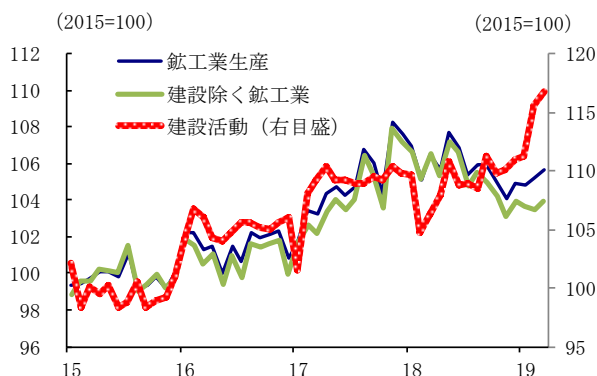
～特殊要因剥落と天候要因に支えられた面も～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 03-5221-4527)

- 3月のドイツの鉱工業生産は前月比+0.5%と2ヶ月連続の増産を記録。2月値が当初の同+0.7%→同+0.4%に下方修正されたものの、事前の減産予想（ブルームバーグのコンセンサス：同▲0.5%）を覆した。景気悪化懸念が後退し、発表後にユーロ相場が反発している。1-3月期平均では前期比+0.5%と過去2四半期の落ち込み（何れも同▲1.0%）から切り返した。
- 単月でみた財別内訳は、中間財（前月：前月比▲0.1%→今月：同+0.4%）、資本財（同+0.9%→同ゼロ%）、消費財（同▲1.5%→同+1.1%）、エネルギー（同▲3.7%→同+0.3%）、建設（同+4.0%→同+1.0%）が揃って落ち込みを回避した。
- 昨年後半の鉱工業生産は、自動車の新排ガス試験対応の遅れ、ライン川の水位低下による化学関連施設の操業停止、医薬品の大幅な振幅（理由は不明、ブregジットの在庫積み増しが影響か？）が生産を下押しした（右図）。年明け以降もIfoやPMIなど製造業の業況は総じて振るわないものの、一時的な下押し要因の剥落が生産活動の緩やかな底入れにつながっている。ただ、このところの生産回復は冬場の温暖な天候に支えられた建設活動の好調に支えられた面も大きい。建設を除く鉱工業生産は過去数ヶ月、概ね横這い圏での推移にとどまっている（左図）。

■ドイツ：鉱工業生産と建設活動



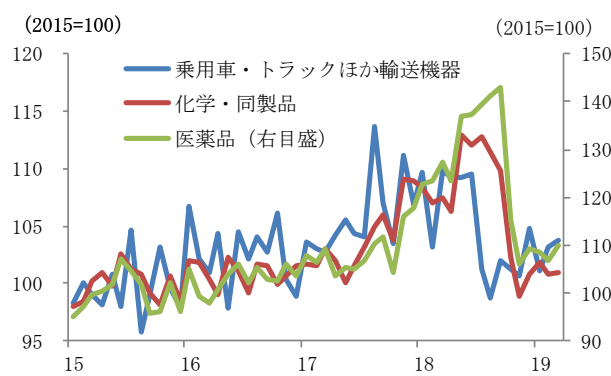
出所：ドイツ経済技術省

■ドイツの鉱工業生産（季節調整済み、前期<月>比、%）

	2018				2019									
	2Q	3Q	4Q	1Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
鉱工業生産	0.5	-1.0	-1.0	0.5	-0.7	-1.4	0.5	0.0	-0.8	-0.9	0.8	-0.1	0.4	0.5
製造業・鉱業	0.3	-1.4	-1.1	-0.1	-0.6	-1.9	0.5	-0.1	-0.7	-1.1	0.7	-0.3	0.1	0.3
中間財	-0.4	-0.8	-0.6	-0.3	-0.9	-0.8	0.4	-0.6	0.0	-0.8	0.4	-0.4	-0.1	0.4
資本財	0.6	-2.7	0.4	0.0	-0.3	-2.9	0.1	0.5	0.2	-1.0	1.3	-1.1	0.9	0.0
消費財	1.8	0.7	-6.0	-0.1	-1.2	-0.9	1.3	-0.5	-4.6	-2.2	-0.6	1.8	-1.5	1.1
耐久財	-0.3	-0.6	-1.3	2.7	-0.1	-2.4	1.0	1.2	-1.7	-1.8	1.4	2.3	-0.8	1.8
非耐久財	2.2	0.9	-7.0	-0.7	-1.4	-0.6	1.4	-0.8	-5.1	-2.3	-1.1	1.7	-1.7	0.9
エネルギー	-1.4	1.5	-3.6	1.1	0.8	1.0	2.2	-5.1	-1.4	-0.1	1.8	2.3	-3.7	0.3
建設	2.1	0.4	0.7	3.9	-1.8	0.2	-0.5	2.6	-1.3	0.2	0.8	0.3	4.0	1.0

出所：ドイツ経済技術省

■ドイツ：鉱工業生産（製品別）



出所：ドイツ経済技術省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

